

2017年度 事業計画

音楽ボランティア派遣事業

○事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を目的に音楽ボランティアを派遣する。

1 施設につき2名～5名がグループを組み、進行者、伴奏者、楽器配布や歌詞の準備をする者など役割分担をして、約45分～60分のプログラムを進める。季節の歌や懐かしい歌などの歌唱、歌やリズムを使った体操、楽器の合奏など主に参加型のプログラムを提供する。

○事業計画

新規の定期・単発の依頼も多い一方、進行を担える活動に参加するメンバーが限られているという課題がある。会員が音楽的スキルアップ、レクや進行のスキルアップを意識できるよう会報等で働きかける。

アーティスト派遣事業

○事業の目的と内容

音楽による余暇活動の支援を有償活動で行う。

音楽レクリエーション、演奏家、音楽療法士、音楽講師として、専門的なスキルを有する会員等の派遣を行う。

○事業計画

アーティスト派遣事業に興味と理解のある音楽家に呼びかけ、入会と登録を促す。

ミュージックサロン事業

○事業の目的および本年度方針

音楽の練習を通して参加者の生きがいや居場所をつくりだすとともに、日ごろの練習の成果を地域に還元できるよう、社会貢献を目指した音楽活動を行う人材の育成に取り組む。

ミュージックサロン事業の円滑化にむけてミュージックサロン担当者を配置する。本年度は、週1日3時間からスタートする。まずは宣伝を強化するために、チラシ、ホームページ改変、プロモーション企画、他に取り組む。

○各事業計画

ポピュラーコーラス

○事業の目的と内容

毎月第2・4金曜日にコーラスのレッスンをを行い、皆でハーモニーを奏でながら歌うことの喜びを味わってもらおうと共に、音楽活動を通しての世代間交流を図る。地域の行事や社会福祉施設等で練習の成果を発表するとともに、受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動を行なう人材の育成を図る。

○事業計画

- ①受講者 25 名から 5 名増を目指す。
- ②9 月 16 日に発表会、12 月にクリスマス訪問演奏を行う。
- ③その他受講者から提案があれば随時、訪問演奏を行う。
- ④訪問演奏のリーダーを受講者が担えるよう育成を行う。
- ⑤WEB での発信、チラシの配架など、積極的な広報活動を行い、入会に繋げる。

ゴスペルコーラス

○事業の目的と内容

毎月第1・3土曜日にゴスペルコーラスのレッスンをを行い、皆でハーモニーを奏でながら歌うことの喜びを味わってもらおうと共に、音楽活動を通しての世代間交流を図る。地域の行事や社会福祉施設等で練習の成果を発表するとともに、受講者に地域と触れ合う機会を提供し、社会貢献を目指した音楽活動を行なう人材の育成を図る。

○事業計画

- ①受講者 19 名から 5 名増を目指す。
- ②9 月 16 日に発表会、12 月にクリスマス訪問演奏を行う。
- ③その他受講者から提案があれば随時、訪問演奏を行う。
- ④訪問演奏のリーダーを受講者が担えるよう育成を行う。
- ⑤WEB での発信、チラシの配架など、積極的な広報活動を行い、入会に繋げる。

中高年のための歌声教室

○事業の目的と内容

地域の中高年を対象に、参加者によるリクエストを中心に、唱歌や歌謡曲・童謡などの斉唱を楽しんでもらう。月1回の開催とし、歌唱を通じた健康づくりにも貢献できるようなプログラムを実施する。健康にも寄与し、参加者同士の交流を図りながら、表現をする喜びを味わうことを目的としている。

○事業計画

- ①第2金コース、第4金コースの2コースで活動する。第2金コース受講者 32 名から 5 名増、第4金コース受講者 20 名から 5 名増を目指す。
- ②チラシを作成し、会場近辺を中心とした関係機関との繋がりを強化、広報を広げる。

③訪問演奏のリーダーを受講者が担えるよう育成を行う。

中高年のためのピアノサロン

○事業の目的と内容

高齢者の孤立化が社会問題として挙げられている昨今、誰もが気軽に立寄り音楽（レッスン）を通して、QOL の向上と参加者同士のコミュニケーションを図る。中高年の方々を対象としたオープン型のピアノレッスンで、初心者～経験者まで幅広くジャンルは問わない。本年度よりレッスンスケジュールを見直す。月3回（年間36回→隔週年間30回）。

○事業計画

- ①生徒募集にむけてWEBでの発信、チラシの配架など、積極的な広報活動を行い、入会に繋げる。
- ②受講者1名から3名増を目指す。

スマイルミュージックフェスティバル事業

○事業の目的と内容

「障がいのある方もない方もともに楽しむイベントを行う。本年度の開催については、ミーティングを開催して決定する。

○事業計画

財源確保にむけて、助成金を申請する。

岡崎いきいき市民活動センター

今年度の特徴は、昨年より始めた市民活動支援に力を注いでいることと、自主事業であったワールドミュージック（岡崎関連音楽イベント）を市民活動活性化事業に格上げし、岡崎関連の施設と団体をつなぐ活動に力を入れています。

○大学学生連携事業：岡崎ガーデン倶楽部プロジェクトⅢ（継続）、○高齢者交流事業：歌声クラブ（継続）、ピアノサロン（継続）○地域交流連携事業：わいわい文化祭（継続）、ワールドミュージック（新規）○文化芸術交流連携事業：ロームで歌おう、岡崎セッション、京の七夕、レコード楽譜図書館7・8 ○市民活動支援事業：チラシ・レイアウト講座

事務局

○事務局スタッフの補強

事務局スタッフの退職に伴い人員の補強を行う。音の風事務局の仕事は幅広く、基本的な事務作業に加えて、音楽と地域をむすぶコーディネータとして、更に音楽事業の企画立案、各種報告書作成のスキルを要するため、それに対応できる人材を確保するために、ハローワーク他、幅広く募集を行う。

○昨年に引き続き、拠点確保に伴う事業計画や情報収集に努める。事業計画にあたっては、自主事業の展開に加えて、委託事業等の受託も視野に入れた計画の検討を行う。特に、障害児を対象とした音楽活動のニーズは高く、障害児の居場所問題も合わせ引き続き検討を進めたい。

○実施計画

①ホームページやフェイスブック投稿の事務局内のルール作成を検討し、定期的な更新を行う。

②29年度目標は現会員数120名から5名増加の125名とする。

29年度人員体制

○29年度役員

代表理事 西野桂子、副代表理事 藤田道夫、

理事 岡本芳孝、米谷亜由美、滋野浩毅、木下裕史

監事(案) 柴田泰（総会にて承認）

○事務局体制

スタッフ 藤野正弘、西野桂子、前滝康彦、SO 米谷亜由美、

○岡崎いきいき市民活動センター職員体制

常勤職員 曾和泉 福原汐美

非常勤職員 西野桂子、藤野正弘、前滝康彦、尾藤三希子、今林幸子、岡田美智子、長尾操、浜野俊介

会員交流

○目的と内容

会員間の親睦を目的として開催する。

○実施計画

会員の主体的な提案に基づき交流会を開催する。